

# 出前講演を開催しています！

埋蔵文化財センターでは、鳥取県の考古学について広く情報発信するため、職員（文化財主事）が各地に出向き、「出前講演」を行っています。各種研修会や地域の歴史学習などでぜひご活用ください。

## ●テーマの一例紹介

### 「鳥取県東部における農耕社会のはじまりについて」

#### 〈概要〉

狩猟採集から農耕への変化は、単なる食料獲得手段の変化だけではなく、社会全体に大変大きな変化を引き起こしました。日本列島では、縄文時代から弥生時代へと変わる時にあたりますが、その時の山陰地方、特に最近、その時期の遺跡が多く見つかっている鳥取県東部の様相について、詳しく解説します。

## ●担当者からひとこと



文化財主事兼係長  
下江 健太

縄文時代から弥生時代への変化に関する研究は、いま山陰が最も熱い地域の一つ。最近、資料が充実してきた鳥取県東部の最新の研究成果を基に、時代の変化の実像をお知らせします！

○出前講演はホームページでもご案内しています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/28013.htm>

○講演の実施に当たっては、次の点にご注意ください。

- ・講師への謝金は不要です。（旅費については要相談）
- ・会場の準備や会場使用料などの経費負担は、申込者にてお願いします。

## 遺物紹介

# 「サメ」が描かれた銅剣

鳥取県立博物館が所蔵している弥生時代中期（紀元前2世紀頃）の銅剣に、サメと考えられる絵が線刻されていたという新発見がありました。製作された後の銅剣に絵を線刻した例としては全国初の発見で注目されています。

サメをモチーフにした絵は鳥取県を中心とした日本海沿岸地域にしか存在せず、特に青谷上寺地遺跡で多く見つかっています。この話題の銅剣は同館1階・歴史・民俗展示室（常設展）で展示中。ぜひ、ご来館を！

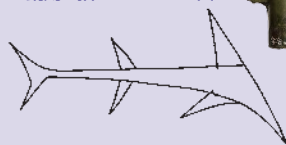
【お問合せ】鳥取県立博物館 学芸課人文担当  
電話0857-26-8044



「因幡の白兔」の説話にも登場するように、昔からサメは鳥取の人々の暮らしに身近な存在だったんだね！



▼銅剣に描かれたサメの図



銅剣 鳥取県立博物館蔵（奈良文化財研究所撮影）

## ◆新刊◆ Book Reviews ブックレビュー

埋蔵文化財センターの販売図書の中から、おすすめの本を紹介します。  
※販売図書情報はホームページでもご案内しています。  
アドレス▶<http://www.pref.tottori.lg.jp/247252.htm>

### 青谷上寺地遺跡発掘調査年報2015

#### 昭和の民芸運動と弥生時代の遺跡のつながりとは？ 新たな視点を提示する講演録を含む必読の1冊！



●A4判／本文32ページ／166g  
●価格：600円  
（送料：1冊の場合300円）

市井に生きる無名の工人が作った日用雑器にこそ日本美が宿るとして、思想家の柳宗悦が起こした「民芸運動」。鳥取県内では昭和初期から吉田璋也が先導したこの運動の起源は、青谷上寺地遺跡から出土した遺物のものづくりにつながるのではないか。

こんな刺激的な仮説から始まる、大阪府立狭山池博物館長で同遺跡の発掘調査委員長も務めた工楽善通氏の特別講演を含む講演会の記録を主体に構成されている。弥生時代と現代の関係に新たな視点を提示した考古学・民芸ファン必読の1冊。

### 青谷上寺地遺跡

#### 出土品調査研究報告11 石器（2）



#### 出土石器の特性を多角的に検証

青谷上寺地遺跡の出土石器に関する調査研究報告書。完成品を対象にした前編に続き、未成品の資料提示とともに、出土石器の特性を多角的に検証している。

●A4判／本文254ページ／1,095g  
●価格：3,010円（送料：1冊の場合460円）

### 調査研究紀要 7



#### 文化財専門職員の研究成果を掲載

県内の文化財専門職員の研究成果を掲載した学術雑誌。「大権寺遺跡の瓦について」など研究論文2編、研究ノート2編、資料紹介1編を収録。専門職員の真摯な研究活動の一端を垣間見れる。

●A4判／本文73ページ／360g  
●価格：900円（送料：1冊の場合300円）

## フェイスブックもご覧ください！

発掘調査のタイムリーな情報や、遺跡を活用した楽しい取り組みなどを紹介中ですので、ぜひご覧ください。アドレスはこちら▶<https://www.facebook.com/tottorimaibun>